

## 在チェンナイ日本国総領事館 海外安全対策情報

令和5年度第3四半期（令和5年10月～令和5年12月）

### 1 治安情勢

#### (1) 概要

館内の治安はおおむね安定していますが、窃盗等の犯罪は多発していますので十分注意して下さい。また、スラムなどの低所得者居住地区周辺では殺人、強盗、性犯罪、違法薬物売買などの犯罪が日常的に発生しておりますので、そのような地域には近づかないで下さい。

#### (2) 犯罪発生状況（2022年、チェンナイ市）

ア 殺人、強盗殺人	1,690件
イ 強盗、ひったくり	2,846件
ウ 侵入盗	5,902件
エ その他窃盗	17,808件
オ 略取誘拐	31件
カ 強制性交等	139件

#### (3) 注意点

- ア スマートフォンやバッグ、ネックレス等のひったくりが多発しており、地元警察が注意を呼びかけています。
- イ 路上等で多人数が集合している場合、デモ・暴動に発展するおそれがありますので、速やかにその場から離れて下さい。

### 2 邦人の犯罪被害発生状況（殺人、強盗、性犯罪、窃盗、詐欺など）

期間中の発生はありません。

### 3 邦人の交通事故被害発生状況

(1) 期間中の発生はありません。

#### (2) 交通死亡事故発生状況（2022年、チェンナイ市）

ア 死者数	508人
イ うち、歩行者の死者	179人
ウ うち、バイク関連	241人

（そのうち、バイクと歩行者の衝突による歩行者の死者は79人）

#### (3) インドの一般的な交通環境

インドの車両保有台数は全世界の1%のみであるにもかかわらず、交通事故は10%を占めるほど事故が多発している旨報道されています。実際、国民の交通安全意識は極めて低く、飲酒運転、逆走、信号無視、バイクの歩道通行、携帯電話使用運転などの交通違反は日常茶飯事であるなど交通環境は劣悪ですので、当地では自ら運転することは避けて下さい。また、徒歩で外出する際は常に周囲の交通状況を慎重に確認して下さい。

## 4 テロ・爆弾事件発生状況

### (1) 爆弾テロ事件の発生

10月29日午前9時30分頃、ケララ州コチ市近郊のカラマッセリーにおいて、「エホバの証人教会」の集会場に仕掛けられた爆弾が爆発し、参加者3名が死亡、50人以上が負傷する爆弾テロ事件が発生しました（邦人被害なし）。

### (2) インドにおける一般的なテロ情勢

インド国内においては、宗教施設や駅、多数の人が集まる場所でイスラム教過激派等による爆弾テロが発生する傾向があることから、これらの場所には極力近寄らないようにしてください。特に、宗教行事や選挙期間等はよりその傾向が強くなりますのでご注意ください。※2014年5月、チェンナイ中央駅において、列車に仕掛けられた爆弾が爆発して1名が死亡、複数人が負傷する事件が発生しました。

## 5 外国人に対する誘拐・脅迫事件発生状況

期間中の発生はありません。

## 6 日本企業の安全に関わる諸問題

(1) 期間中の発生はありません。

(2) インド国内においては、これまでも、日系企業を含め、外国企業に対して労働団体が待遇改善や賃上げ等を求めるストライキや暴動が度々発生しています。

## 7 公共交通機関の状況

### (1) インドにおける鉄道の現状

インドの長距離列車や駅においては、以前から殺人、性犯罪、窃盗等の犯罪のみならず、テロや衝突・脱線事故が多発しており決して安全とは言えません。そのため、可能な限り長距離列車の利用は避けていただくことをおすすめいたします。

(2) 以下は、2022年中に当館館内及びその周辺で発生した主な列車関連事件です。いずれも多数の死傷者が発生しました。

ア 列車内におけるガソリン放火テロ事件：4月2日午後9時頃発生  
イスラム過激派周辺者による犯行（ケララ州コジコード市近郊）

イ 列車3本による衝突事故：6月2日午後7時頃発生  
乗員乗客290人以上が死亡、1,000人以上が負傷（コルカタ総領事館管内オディシャ州）

ウ 列車内における火災：8月26日早朝発生  
乗客が列車内に違法に持ち込んだガスボンベを使用して調理していた際に火災が発生して10人が死亡（タミル・ナド州マドゥライ市）

- エ 列車2本による衝突事故：10月29日午後7時頃発生  
停止中の列車に走行してきた旅客列車が衝突して14人以上が死亡  
(アンドラ・プラデシュ州ビシャカパトナム近郊)

## 8 密輸

- (1) 海外からチェンナイ空港に到着した邦人が多額の現金や金塊を無申告でインド国内に持ち込んだところを空港の税関に摘発される密輸事案が複数発生しました。
- (2) インド税関によりますと、10,000米ドル相当を超える外貨を持ち込む場合は税関への申告が必要であるほか、金銀の輸入は少量であっても持ち込みが禁止されています。法令違反があった場合、金品を没収された上、身柄拘束（逮捕）や罰金、高額な関税を課される場合があります。法律を知らなかったなどの言い訳は一切通用しませんので、免税範囲を超える金品を持ち込む場合には必ず税関申告を行ってください。

## 9 災害

### (1) サイクロンによる水害の発生

12月4日から5日かけ、サイクロン（通称：Michaung）の影響により、タミル・ナド州、アンドラ・プラデシュ州の広範囲で大雨となり、浸水被害が発生しました。

- (2) 2015年12月、タミル・ナド州において、空港や学校、企業等が長期間にわたって閉鎖される大規模水害が発生しました。例年11月から翌年1月にかけての南インドでは水害が発生しやすい時期ですので、この時期にかかわらず、普段から水や非常食を備蓄しておくことを推奨します。

## 10 その他

旅券を紛失した旨の相談が複数寄せられています。旅券は海外で身分を証明する唯一の公文書であり、再発行の手続きには戸籍謄本の原本が必要になるなど相当な時間と労力を要することとなりますので、旅券の保管・管理は厳重に行ってください。